



## 山元町ゼロカーボンシティ宣言

山元町は東に太平洋、西に阿武隈高地、北は仙台平野に接し、砂浜海岸、水田、畑地、里山、住宅地を有する緑豊かなまちです。私たちは、この豊かな自然環境を保全し、末永く後世に引き継いでいかなければなりません。

近年、地球温暖化に起因すると考えられている気候変動の影響により、猛暑や記録的豪雨など、大規模自然災害が各地で頻発し、人々の生活や生物の生存基盤を揺るがす極めて深刻な問題であると憂慮されております。

2015年に採択されたパリ協定では、産業革命からの平均気温の上昇を1.5℃に抑えるためには、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されており、国は、パリ協定に基づき、2013年度と比較し、2030年度までに温室効果ガスの46%削減を目指し、さらに50%削減の高みを目指すことを表明しております。

このような状況を踏まえ、山元町は、かけがえのない緑豊かな自然と人とが共生する持続可能な町を後世へとつないでいくため、より一層の温室効果ガスの排出抑制に努め、町民とともに「SDGs」に尽力し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言いたします。



令和8年2月27日

山元町長 橋元伸一